

# 第34回日本疫学会学術総会プレセミナー4

## データベース研究の デザインと実践

—明日からできる！データベース研究—

開催日時：2024年1月31日(水)、15:30～17:30

参加費：一般4,000円、学生1,000円

開催形式：現地(定員75名) + 後日オンデマンド配信

参加申し込み期間：2023年10月5日(木)  
～2024年1月24日(水)

共催(予定)：日本臨床疫学会、日本薬剤疫学会

初心者、中級者レベル

ワークショップあり

### 講師

原 梓

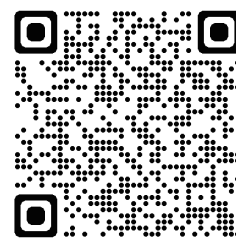
慶應義塾大学薬学部・准教授

岩上 将夫

筑波大学医学医療系・准教授

佐藤 泉美

長崎大学医学部・教授



第34回日本疫学会学術総会  
プレセミナーサイトへはこちらから

### 座長

杉山 大典

慶應義塾大学看護医療学部・教授

漆原 尚巳

慶應義塾大学薬学部・教授



## セミナー概要

昨今、データベース研究の隆盛は目を見張るものがあります。そこで、「データベース研究を基本的なところから理解したい」「これからデータベース研究をしてみたい」という初学者向けに、「データベース研究と従来の疫学研究はどう違うの?」「データベース研究はどう進めたらよいの?」といった疑問を解消するためのセミナーを企画しました。

「データベース研究と従来の疫学研究との違いー古典的疫学研究との比較」や、「データベース研究の基礎知識」、「データベース研究の今後の展望」等、3つの学会がそれぞれの視点からデータベース研究について論じ多角的な視野でセミナー展開されるので、1からデータベース研究について学ぼうという初学者にも門戸の広いプログラム構成となっています。

また、セミナー内では、日本疫学会・日本臨床疫学会・日本薬剤疫学会の3学会共同で運用しているアウトカム定義を集積・登録・公開・共有するためのレポジトリである Outcome Definition Repository (ODR) を利用してデータベース研究の鍵となるコード定義の具体的な手順についての実践的なワークショップも行います。

「データベース研究を基本的なところから理解したい」、「これからデータベース研究をしてみたい」、「バリデーション研究を知りたい」といった方にオススメです!

**KEYWORD : データベース研究、アウトカム定義、バリデーション研究**

## セミナーの主な内容

### ○疫学会からの視点～「データベース研究とは?」～

データベース研究の利点と欠点について、古典的な疫学研究との比較を中心に概説する。

(講師:原 梓)

### ○薬剤疫学会からの視点～データベース研究の実績～

データベース研究を行う際に必要不可欠となる要素や研究デザイン、バリデーション研究、報告ガイドラインについて例を用いて解説する。

(講師:佐藤 泉美)

### ○臨床疫学会からの視点～海外動向とデータベース研究の未来展望～

昨今の海外のデータベース研究動向を踏まえ、今後の展望について概説する。

(講師:岩上 将夫)

## Outcome Definition Repository (ODR) とは…

医療情報データベースを用いた研究で使用されたアウトカム等の定義を集約し、登録・公開・共有するためのオンラインレポジトリ。2023年5月より日本疫学会・日本臨床疫学会・日本薬剤疫学会の3学会共同で運用開始となった(限定公開)。関連学会の知識を蓄積し共有することで、データベース研究の科学的妥当性の向上を目指す。

## アウトカム等定義とは…

日本の医療情報データベースを用いて実施された研究にて、ある疾患や曝露の状態・有無を決定するために使用されたデータベース上のコードとその組み合わせ(アルゴリズム)。